年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（１学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語　　科 目： 現代の国語　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・2・3・4組： ） （5・6・7・８組： ）

使用教科書：（ 現代の国語 大修館書店 ）

教科 国語

【知 識 及 び 技 能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う 。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 知	思	態	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 水の東西 【知識及び技能】 基本的な漢字の読み書きを行える。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構造に着目し、筆者の主張を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習活動に取り組む。	f	○	○	○	・本文の読解に必要な基本的な漢字の読み書きを行うことができる。 ・本文の構造に着目し、筆者の主張を捉えることができている。 ・日本と西洋諸国の文化の違いについて理解している。 ・音読を積極的に行っている。	○	○	○	8
	B 「動」への変化 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて論理の展開を的確にとらえ、要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の要点を把握し、内容や形式について論述しようとしている。	・本文の読解 ・漢字の読み書き ・現代の国語（大修館書店） ・一人１台端末の活用	○	○	○	・本文の読解に必要な基本的な漢字の読み書きを行うことができる。 ・本文の構造に着目し、筆者の主張を捉えることができている。 ・個別化された情報と一般化された情報との関係と違いを理解している。 ・音読を積極的に行っている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	1
	C 伝わるように話す 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすいように表現を工夫して話す。 【学びに向かう力、人間性等】	・話し言葉と書き言葉の違い ・話し言葉と書き言葉の違いを踏まえての話し合い活動 ・現代の国語（大修館書店） ・一人１台端末の活用	○	○	○	・話し言葉の特徴や、相手に配慮した表現にいついて理解している。 ・話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 ・口頭での説明を通して、話し言葉の特徴くを踏まえ、相手が理解しやすい表現を工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	9
	D わかりやすく書く 【知識及び技能】 書くべき材料と構造について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じた表現を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にわかりやすい書き方を模索している。	・文章の構造に応じた書き方 ・自分の伝えたいことを的確に伝えるための書く活動 ・現代の国語（大修館書店） ・一人１台端末の活用	○	○	○	・書くべき材料のそれぞれの特徴や関係について理解している。 ・目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んでいる。 ・材料同士の関係や全体の構造に注意しながら、目的や意図に応じた適切な材料と形式を選び、自らの学習を調整している。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	1
2学期	C 動的平衡としての生物多様性 【知識及び技能】 主張と論拠などの情報の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 主張と論拠を積極的にとらえようとしている。	・本文の読解 ・漢字の読み書き ・現代の国語（大修館書店） ・一人１台端末の活用	○	○	○	・主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 ・本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 ・論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	1
	C 「安くておいしい国」の限界 【知識及び技能】 本文と資料の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の構成に注意して、資料を活用して読む。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用した文章の読み方について積極的に考えている。	・本文の読解 ・漢字の読み書き ・資料の活用 ・現代の国語（大修館書店） ・一人１台端末の活用	○	○	○	・文章と図表の情報がどのようにな対応関係にあるか理解している。 ・文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 ・図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に時間運づけて内容を解釈し、自分の意見を深めている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○	○	1
3学期	C 「美しさ」の発見について 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報について理解する。。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や書き手の意図を解釈した上で自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	・本文の読解 ・漢字の読み書き ・現代の国語（大修館書店） ・一人１台端末の活用	○	○	○	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ・複数の文章を比較して読むことに興味を持っている。	○	○	○	8
	C 結論を出すために話し合う 【知識及び技能】 主張と論拠をの関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 相手と論点を共有し、考えを広げたり、深めたりしながら、話し合いの目的に応じて結論の出し方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 結論を出すために他者と積極的に話し合っている。	・教科書に沿った話し合い活動 ・漢字の読み書き ・現代の国語（大修館書店） ・一人１台端末の活用	○	○	○	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ・結論を出すための話し合いの工夫について理解し、その後の学習活動や学校生活に生かそうとしている。	○	○	○	8 合計 70